煤ヶ谷駐在所

厚木警察署
煤ヶ谷駐在所
編集＊渡部
TEL 046-223-0110

覚醒剤等薬物乱用の防止

薬物乱用の危険性！！

覚醒剤、大麻、麻薬等の薬物は、「一度のつもり」で使用したとしても、薬物の依存性や耐性が身体に生じてしまい、使用する薬物の量や回数が増える乱用状態に陥り、自分の意思ではやめることができなくなります。

また、薬物の乱用は、脳の発達に悪い影響を与えるだけでなく、精神や身体をボロボロにし、時として、幻覚や妄想が凶悪犯罪や事故を引き起こすこともあります。

乱用した本人だけでなく、家族や友達などの周囲の人も不幸にする薬物乱用は、「ダメ。ゼッタイ。」

◎　薬物の使用を誘われたら

薬物は、「一緒にやってみよう」「今なら手に入れられる」「ふわふわして楽しくなる」など、身近な人に誘われたことをきっかけに、「興味があったから」「仲間外れにされたくなかったから」等の自身の安易な考えや「中毒性がないと聞いたから」といった誤った情報を信じてしまい、乱用に至るケースが多く見受けられます。

もし、先輩、友達等の身近な人から薬物を勧められても、その場の雰囲気に流されずハッキリ・キッパリと断る又はその場から離れましょう。

二輪車の交通事故防止対策の推進
～二輪車の事故は即、命に直結します～

◎　二輪車の交通事故発生状況

本年３月末現在、県内の二輪車が関係する交通事故の発生件数、負傷者数は前年に比べて減少している一方、二輪車乗車中に亡くなられた方は８人と前年の同じ時期と比べて１人増加しています。

また、昨年の全交通事故死者に占める二輪車乗車中に亡くなられた方の割合は、33.1パーセントで、これは全国平均の約２倍の割合となっています。

◎　県警察における重点推進項目

○　交通街頭活動の強化

二輪車の交通事故を防止するため、二輪車事故の発生が多い二輪車指定路線に白バイを集中運用するなどの交通街頭活動を強化します。

○　関係機関・団体と連携した広報啓発活動の推進

二輪車販売店、各種学校等と連携し、初心運転者を含めたライダーに対する広報啓発活動を実施します。

・　ツイッター、交通情報板など様々な広報媒体を活用した情報発信活動を実施します。

・　交通事故被害軽減対策（ヘルメットの適正な着用並びにプロテクター及びエアバッグジャケットの着用）の指導及び促進活動を推進します。

事件記録板

４月中旬から５月中旬までの事件は、

特殊詐欺、空き巣、侵入盗等の発生はありませんでした。

※　毎度のように振り込め詐欺の注意喚起を広報していますが、もしかしたら詐欺だと感じたら間違いなくそれは詐欺だと思ってください。

駐在所の独り言　～誰にも頼らない。自分の道は自分でしか拓けないです～

最近、小学校で通知表（あゆみ）がなくなっている学校があると知りました。皆さんにとって色々な考えがあり、正解は個々それぞれ親の考えではありますが、どのように考えますか？今後全ての学校で通知表がなくなるか分かりませんし、その通知表がなくなる理由を調べていないのですが、恐らく子供たちに悩ませたくないという事なんでしょうか。そもそも今の教育は、落ちこぼれをなくす施策がされ、ゆとり教育を始めとして授業を簡単にしていくという方向にあるんですね。更に通知表までなくなれば、勉強をしなくていいと勘違い、勉強が気にならない、その結果、自分の好きな科目も分からず、勉強に対するモチベーションも下がり、学力低下のまま小学校、中学校、高校、大学と卒業していくのではないかと不安もあります。友人に会社経営する者や誰もが知る大企業の面接官がいるのですが、そこでびっくりする話がありました。それは、以前は、10 人面接すれば、２，３人に興味が湧き、採用に向けて再度二次面接の為に呼ぶという事があったようですが、最近は 100 人面接しても誰も引っかからない採用ゼロが続いているとか。何故でしょうか。それは、自分が何が得意でどんな仕事をして行きたいという意志が見えないだだ頑張ります。大丈夫です。だけなようです。企業側からすれば、何も出来ないですが、私の為に生活の為に採用してください、給与をくださいとしか見えないようです。確かにこうした面接は疲れますよね。面接官が一番嫌う応答は、自社の企業研究せず、他社他業種でも応用できる付け焼刃的な定型文を語るという、何も準備もしていない人のようです。決して用意された言葉でなく、どんな質問にもその都度感じた、自分の経験をきっかけとしてどんな事を気づき遣り甲斐を見つけられたとか、その時々で感じた瞬間を実体験の中で語られるよう人間味と素晴らしい人柄を感じるような面接になれば、きっと良い結果が見えて来ると思うんです。環境や誰かのせいにせず自分自身で些細な事も見逃さない感性を磨くのが吉です。